

1 素人芸手習い鑑

- 「なんで 男のような髪をして
ヘレン姉さん
今週で 手懸けてまだ三週目なのに」
「バラッドをつくっているの お願いだから静かにして
弟よ 5
(ああ 生母 母なるケアリー
うるさく鳴くのは鶏ですか 海と空の間で)」
- 「でもどうして そんなにやつれた様子なの
ヘレン姉さん
どうして そんな緑の服を着て」 10
「おだまり ペチャクチャおしゃべりするんじゃないの
弟よ
(ああ 生母 母なるケアリー
飛んで行くのは何の鳥 嵐の空を飛んで行く)」
- 「でもどうして そんなに黄味を帯びた白い顔 15
ヘレン姉さん
どうして 妙にきついスカートを」
「静かに お願い うるさくって書けないわ
弟よ
(ああ 生母 母なるケアリー 20
お供の鳥がなんとたくさん 空から海へ)」
- 「母なるケアリーとは誰のこと お供の鳥とは何のこと
ヘレン姉さん
どうして そんなに何度も声をかけるのですか」
「うるさいわね だって それがリフレインでしょ 25
弟よ
(ああ 生母 母なるケアリー
いったい何事 てんやわんやの大空で)」
- 「リフレインって何 変な言葉ですね
ヘレン姉さん 30

姉さんがつくってるバラッドというのは 海鳥の歌？」

「とんでもないわ 馬鹿なこと言わないで

弟よ

(ああ 生母 母なるケアリー

雛鳥が低空飛行 空模様があやしくなって)」

35

(上の兄が口をはさんで)

「姉さんが学んだりフレインには 元は意味がありました

ヘレン姉さん

古風なバラッドに 不思議な力を与えたものだ

でも今や 馬鹿げた流行はやりになったというわけ

弟よ

40

だから 「生母 母なるケアリー」には

もはや 何の意味も無い

「凝り過ぎた手口は もう盛りを過ぎました

ヘレン姉さん

違ったスタイルの歌をつくって

流行はやりの手口には 綺麗さっぱりお別れしよう

弟よ

45

そういうわけで 生母 母なるケアリー様よ

お供の鶏呼び集め お昇り下さい 天国に」

(フェルマータ。ついで、トライアングル打ちながら
もの悲しげにうたう兄の歌)

「ご覧ください この顔を わたしの名前は『過去の人』

50

『使い古し』とも 『すりきれ下着』とも

『洗い直し不可能品』とも呼ばれています

人の世の良識は 目覚めに手間はかかっても

結局目覚めて気付くもの ああ 哀れにもこのわたし

バラッド・リフレインの手品師ですが 今では手の内知れ渡り

55

あざけられ さげすまれ

手の内読まれた裸の王様

「わたしは なんと哀れないかさま師

ブリキの空缶尻尾に付けた驚きニャンコが通りを行けば

お堅い紳士淑女も耳そばだてる

60

それに引きかえ 哀れなるかなバラッド・ニャンコ
恥ずかしながら ガラガラリフレイン尻尾に付けても
いたずら芸を褒めてくださる批評家方は皆無です」

(山中光義訳)